

意味を待った“旁”の例

頸 ^{おおがい} 大貝 頭の象形で、頭に属する部分の名を表わす部首です。

頸 = 頭に属する“まっすぐ”な部分、くびを表わした字。音は^{けい}筮。会意・形声字。

郊 ^{おおざと} 大里 邑(小さい村から町、大きくは国の意味の字)の草書体 “阝”で“村”“町”“国”の意味の部首。

郊 = 邑(町)と邑と交わる所は 町はずれ^{こう}です。音は交なので、会意・形声字。

杉 ^{さんづくり} 三旁 美しい飾りの意味の部首。
杉 = 形の美しい木という意味の字、音は^三 (三)で、会意・形声字。

集 ^{ふるとり} 古鳥 鳥の意味の部首。
集 = 鳥が木の上に“あつまる”ことを表わした会意字。

判 ^{りっとう} 立刀 刀の意味の部首。
判 = 半分に切ったその片われ。証拠にするために半分ずつ

持つ。今は証拠に押す“印判”という使い方をしています。音は^{はん}半で、会意・形声字。

功 ^{ちから} 力 努力する意味の部首。
功 = 努力して工作し、それを完成させることを表わした字、会意・形声字。

飲 ^{あくび} 欠 人が口を大きく開いた象形。口を開く意味の部首。
飲 = 口を開いて食べ物を“のみこむ”意味の会意字。

牧 ^{のぶん} 刀文 手に棒もしくは鞭を持つ意味の部首。
牧 = 鞭を持って牛を追う会意字。音は^{ぼく}父で、形声を兼ねています。

役 ^{るまた} 又 手に武器を持つ意味の部首。
役 = 武器を持って“いくさ”に行くことを表わした字。戦役のこと。大変な仕事の意味になります。会意字。